

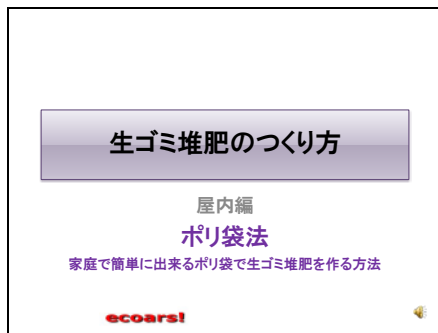
# 生ゴミ堆肥のつくり方

家庭で簡単に出来るポリ袋で生ゴミ堆肥を作る方法

作者：森下能守

2019/01/01

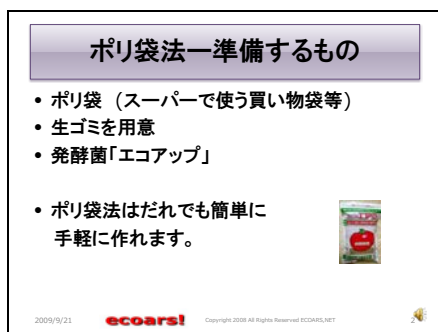
スライド  
1



生ゴミ堆肥の作り方

「家で簡単にできる、ポリ袋で生ゴミ堆肥を作る方法」  
について説明します。

スライド  
2

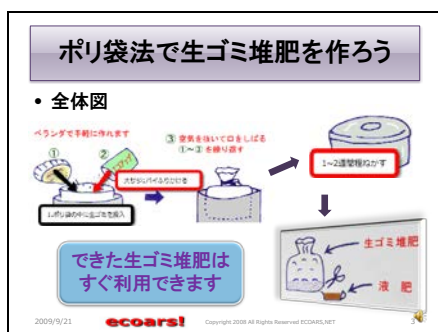


ポリ袋法で準備するもの

1. ポリ袋。これはスーパーで用いられている買い物袋等  
2枚程用意します。
2. 次に生ゴミを用意します。野菜カスや魚肉、コーヒー  
カス等有機質のものなら何でもよいです。
- 3.最後に発酵菌「エコアップ」を用意します。

以上の3つを準備ください。このポリ袋法での生ゴミ堆肥  
つくりは、誰でも簡単に手軽に作れます。

スライド  
3



まず最初に全体の流れから把握してみましょう。

1. 用意したポリ袋の中に生ゴミを投入、その上から「生  
ごみエコアップ」を振りかけます。
2. 生ゴミが出る度にこれを繰り返し、いっぱいになりま  
したら空気を抜いて口を閉じます。
3. これを別容器か、ポリ袋に蓄えて、1から2週間程寝  
かせると生ゴミ堆肥の出来上がりです。

※留意点。---出来た生ゴミ堆肥はすぐ土に埋めて堆肥とし  
て使用できます。

スライド

4



それでは作り方の細部について説明します。

ポリ袋を用意します。

生ゴミは水分が多いので、買い物袋の下部に箸等で水抜き穴を開けて初期の水分を調節するとよいでしょう。あるいは水切りポリ袋を用いるとより便利です。

※留意点。---エコアップの微生物は安全です。この微生物は適度な水分を好みますが、水分が多すぎたり、乾燥しすぎの場合は効き目がうすいので留意ください。

スライド

5



図のように、三角コーナーにポリ袋をあてがいます。

スライド

6



そこに生ゴミを投入します。

※留意点。---野菜カスや魚肉、コーヒーカス等、有機質のものなら何でもよいです。

スライド

7



次に、発酵菌「生ごみエコアップ」を、大サジ1杯分、均等に振りかけます。

※留意点。---三角コーナーの生ゴミ約600gから800gに付、大サジ1杯、約10g程が目安です。

スライド

8



生ゴミがある程度いっぱいになりましたら、水分を底から絞りだして、ポリ袋の口を縛り密封します。

※留意点。---発酵菌「エコアップ」は最初、嫌気性菌が働きますので、空気の層をつくらず密封すると効果的です。(その後好気性菌にバトンタッチします。)

スライド

9

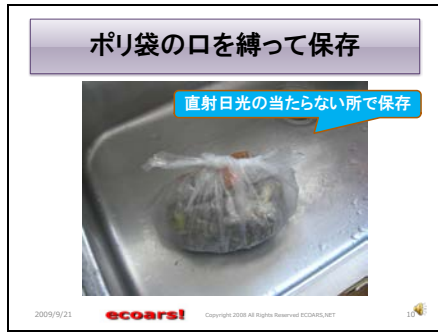


その後もう一つのポリ袋にこれを入れます。

※留意点。---これは水分が漏れないようにするためと、空気の遮断のためです。

スライド

10



ポリ袋の口を縛って保存します。

※留意点。---空気を抜くこと。そして直射日光の当たらない所で保管します。

スライド

11



このように容器に入れて1週間程保管します。

※留意点。---水切り用に、下に落としフタを、用いるのも効果的です。(黄色に見えるのが、漬物用に使用する落としフタです。)

スライド

12

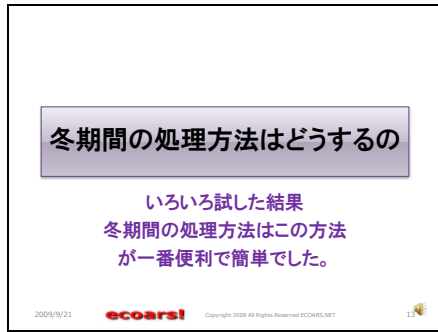


これで「生ゴミ堆肥」の出来上がりです。

※留意点。---上手に出来た目安は、悪臭や腐敗がなく、甘酸っぱい香りがします。表面に白いカビが出来ています。生ゴミの原型はそのままですが、漬物状態になっておりますので、アミノ酸や窒素・リン酸・カリ、ミネラル成分、そして有効な微生物がたくさん出ています。これをすぐ畑に堆肥として利用可能です。

スライド

13



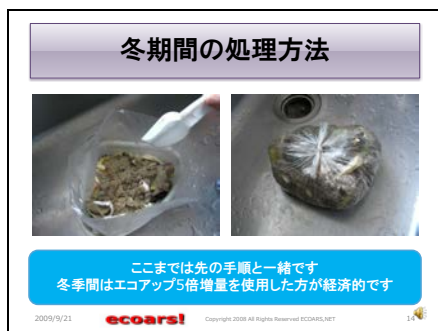
つづいて冬期間の処理方法について説明します。

「冬期間の処理方法はどうするの」という事について、頭を悩ませている方が多いと思います。冬こそ堆肥を蓄えて春に備えたいものですね。

そこで、いろいろ試して実験した結果、冬期間の処理方法はこの方法が一番便利で簡単でした。特に雪が多い北国にオススメの方法です。

スライド

14



冬期間の処理方法

ここまでは先の、ポリ袋法での手順と一緒にです。

※留意点。---冬季間はエコアップ5倍増量を使用した方が経済的です。「エコアップ5倍増量法」とは、エコアップ1に対して、米ぬか5を混ぜたものです。

スライド

15



このまま屋外の大型容器に入れて、春先まで蓄えます。

本当は物置の冷暗所がよいのですが、臭いが気になるので外に置いて蓄えていきます。春先には相当な水分と臭いが出ていますが、雪が溶けて土が出てきたら、堆肥として畑に埋めていきます。

スライド

16



冬期間分を春先まで保存

北国だと冷凍保存状態ですが、暖かくなると二次発酵して春先には相当な水分と臭いが出ていますが、堆肥として何ら問題ありません。

スライド

17



春先の処理方法

雪が溶けて土が出てきたら、土中法で堆肥として畑に埋めていきます。これは穴肥又は溝施用として、少し深めに埋めてください。野菜作りの第一元肥としての位置づけです。

この春先の処理方法は別途、土づくり春処理にて詳しく説明していますのでそちらを参照ください。

スライド

18



最後にこちらで使用している発酵菌「エコアップ」について簡単に紹介いたします。

発酵菌「エコアップ」は、生ゴミを1週間で発酵堆肥にして、野菜や花の肥料として活用出来る循環型エコライフを実現します。

堆肥の活用で3倍増収の家庭菜園には、なくてはならない必需品として、数十年の実績があり、安全で安心して使うことができます。

スライド

19

詳しくは下記へ  
<http://www.ecoa.co.jp>

【濃縮パワーで強力分解！】  
少ない使用量で省資源！  
長期保存可能！

安全で安心して使えます  
食品・薬物・ワジムの食品類  
増量法で経済的  
用途により5倍増量可

【濃縮パワー】  
食品・薬物・ワジムの食品類  
増量法で経済的  
用途により5倍増量可

【濃縮パワー】  
食品・薬物・ワジムの食品類  
増量法で経済的  
用途により5倍増量可

濃縮パワーで5倍の効果

エコア 生ごみEPA 内容量 600g

ecoars! Copyright 2008 All Rights Reserved ECOARS.NET 19

詳しくは、こちらのホームページをご覧ください。

当ホームページではさらに詳しい教材等を用意していま  
す。